

和名：クインスランドミバエ
学名：*Bactrocera tryoni* (Froggatt)
英名：Queensland fruit fly



分布

オーストラリア（タスマニアを除く）、ニュー・カレドニア、パプアニューギニア、ソシエテ諸島、イースター島等

寄主植物

カンキツ類、クダモノトケイソウ、サクランボ、スモモ、トマト、パパイヤ、バンジロウ、ブドウ、マンゴウ、モモ、リンゴ等の生果実



図 クインスランドミバエ
成虫（上）、幼虫（下）

形態

成虫は、体長約6mm。頭部は黄褐色で顔斑がある。中胸背は橙色から褐色。肩瘤、背側板瘤、側縦帯、小楯板は白色から黄色。前翅は前縁帯と肛脈斜帯の2紋がある。脚は黄褐色。腹部は橙色から褐色で第3～5節背板は中央に暗色縦帯及び側縁に暗色紋がある。雄の第3節両側後縁に刺毛列がある。卵は白いバナナ型で長さ1～2mm。幼虫は3齢で体長約10mm、クリーム色のウジ状。蛹は俵状で体長約5mmの褐色。

生態

オーストラリアにおける発生は年4～5世代。卵期間は2日。幼虫期間は25℃で12日間、蛹期間は14日間。卵から成虫までは夏季で2～3週間、秋季で2ヶ月以上である。雌成虫は果実の表皮下に産卵管を刺して6～7個かためて産卵する。ふ化した幼虫は果実中心部に向かって食害する。果実内で老熟した幼虫は脱出して地表下5cmくらいに潜って蛹化する。なお、老熟幼虫は果実から脱出後、跳躍する性質がある。

被害

初期の食害部には網目状の溝が見られ果実に弾力のあることが特徴である。外観的には産卵孔を中心に腐敗が広がり落果する。我が国に発生している類似害虫の内では、柑橘類の害虫であるミカンバエの加害形態に似ているが、ミカンバエは1果実に概ね幼虫1頭が寄生するのに対し、本種は1果に15～50頭が寄生する。